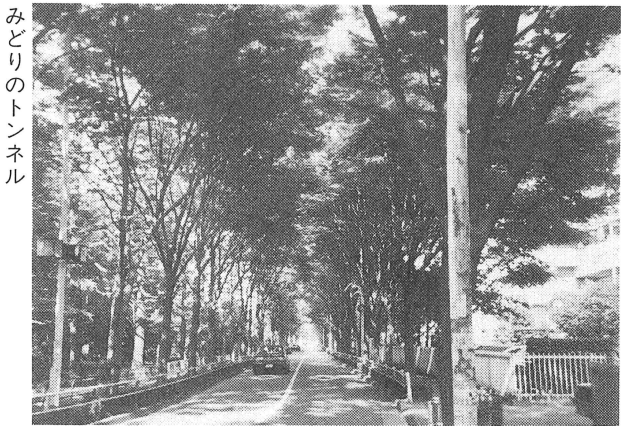




みどりのトンネル

ゆり北

第144号 (14期第 2 号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

駅まで歩こう

営団赤塚駅自転車対策協に参加

爽やかさが心地好かった時期も過ぎて梅雨になって来ました。毎朝の通勤や通学にもいやな季節です。特に慌ただしい朝はなおさらです。営団赤塚駅付近の歩道やゆり東団地などに放置自転車が増えており、歩行者の安全にとっても問題になってきています。昨年「ゆり北」一三〇号にも記事を載せましたが、障害者やお年寄りにとっては状況は深刻です。

この二月から練馬区の交通対策課の呼び掛けで「営団赤塚駅自転車対策協議会」の準備会がもたれ、三月には正式に組織が発足しました。田柄や北町の町会・自治会、商店会、PTAが中心になり、障害者団体の代表も加わったの会合です。ゆりの木北自治会にも声が掛り参加しています。そのなかで現状が報告されています。今年二月六日に調べたものでは、有料自転車置き場には八八五台収容されていますが、駅出入口付近(西側)では五一台、(東側・白滝付近)三八〇台など、総数四六九台もの放置自転車がありました。この調査には板橋区側となる川越街道北側や東上線下赤塚駅付近は調査に入っていません。六月六日にゆり北から営団赤塚駅までを調べましたら、中学校予定地

クリーンゆり北に向けて 各部会の重点目標出揃う

さる六月一日第二回の役員会が開催され、冒頭吉柳会長より五月度における対外活動実績、六月度の同じく予定が報告され、引き続き各部会から今年度の活動基本方針が発表された。各部会の発表要旨は以下の通り。

- 〔広報部会〕
- ①読んでもらえる紙面作りに努力
 - ②主婦の生活情報、会員の声を積極的にとりあげる
 - 〔環境・防災部〕
 - ①災害対策の活動指針作り
 - ②団地内の防犯・防災対策の一層推進
 - ③きれいな団地作りのため一層の清掃活動の推進
 - ④団地生活のモラル向上のキャンペーン

ーン

〔厚生事業部〕

小野上村との交流を始め、主な日程は以下の通り。

- ①小野上村との交流(日程は先月の本紙参照のこと)
- ②尾瀬ハイキング 七月二四日～二五日
- ③ミニキャンプ 八月十日～十一日
- ④長寿を祝う集い 九月一日
- ⑤子供いもほり 十月一日
- ⑥バスハイキング 十月二六日
- ⑦陽だまりキャンプ 来年三月九日
- ⑧お花見 来年四月六日
- 〔住宅対策部〕
- ①地震対策、弱者対策、中水設備に対する検討
- ②家賃値上げに対する二三区自治協

の統一行動への参加
以上の基本政策が発表になったあと役員会の自由討議に入り、騒音対策、団地内の一層の安全向上のため警察との緊密な連絡などについて活発な討議がなされた。

団地の安全で

地域懇談会

団地の安全に関する地域懇談会が二九日にひらかれますので奮って参加してください。最近当団地及び周辺の道路や公園などで子供に対する痴漢行為があったり、上階からものを投げたり悪質なイタズラが増えて

います。
この度地域の関係者に集まっていただいて情報交換と防止対策について話し合うため「地域懇談会」を計画致しました。

〔日時〕六月二九日(土) 午後二時～四時まで



放置禁止の看板の前にも

〔会場〕赤塚新町小学校会議室
〔出席者〕ゆりの木北自治会、ゆりの木通り北住宅管理組合、赤塚新町小学校、同PTA、赤塚第三中学校同PTA、高島平警察署生活安全課員など関係各位

〔懇談内容〕①懇談会の趣旨②状況と自治会の対応③情報交換(学校及びPTAから)④防止対策⑤その他

六月九日の深夜、十三号棟の火災警報ベルがけたましく鳴り響きました。CISセンターの係員や消防車も駆けつけ大騒ぎとなりました。原因はイタズラと思われる。事件の発生直後にエレベーターホールから団地外方向に逃げるように走っていった青いシャツの若者が目撃されています。しかし、長時間鳴り続けたのは、住民のなかに火災警報設備の仕組みがよく分らないため、ベルが止まるのではないかと他のフロアーの火災警報装置や防火扉を動かしたためと思われる。このため、操作盤全面のランプ

が点灯し、全館を点検し押された箇所を発見・修復するのに時間が掛かりました。
火災警報設備は火災が発生した時に大きな役割を果たしますがイタズラは大きな迷惑を起します。光が丘地区では多く発生しているようです。
イタズラを発見したら通報するか自治会役員にご連絡下さい。火災警報ベルがイタズラや誤発報で鳴った場合には、エレベーター脇にあるインターホーンでCISセンターの係員を呼び、措置してもらって下さい。それにしても人騒がせな一夜でした。

大きな迷惑 真夜中の火災警報

今月は騒音をとりあげることにしました。
ツユが明けると、いよいよ夏、夏になるとどうしても開けるのが窓、窓を開けると入ってくるのが騒音。団地生活で一番苦情の多いのが騒音と聞いています。自分では何げないつもりでも、聞く人によってはイライラが募る場合があります。
フローリングの足音、テレビの音量、大きな話し声、深夜の足音、バイク、爆竹数え上げればきりがありません。ゆり北に住むみなさん、この団地には昼間働いている人ばかりではありません。深夜に働いて、昼に休んでいない方もおられます。世に『我が身つねって、人の痛さを知れ』の諺が

騒音・騒音・騒音

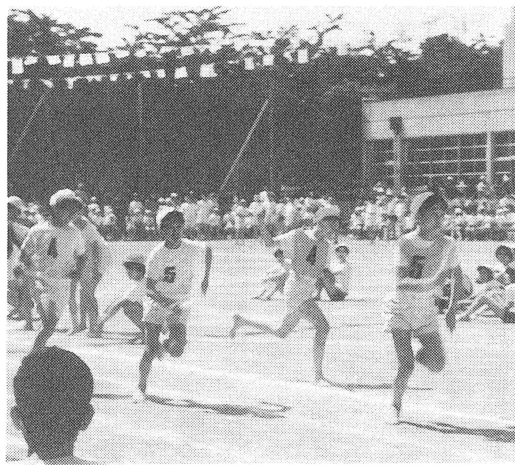
あります。疲れて寝ているときにムリやり起こされ時の不愉快な気持ちをもって、騒音には気をつけましょう。
また十四号棟の八百屋さんの納品が、毎日深夜二時半にトラックが荷物を降ろしに来ます。その後は、三時過ぎと、四時半に別の業者のトラックが来て、ボタン、ボタンという音で朝迄うつらうつらとして寝てもいられません。上に人が住んでいる事を忘れないでほしいと思います。
自治会として、午前六時以前の納品は自粛するよう申し入れています。八百屋さんからは、納入業者に厳重に注意したという回答が寄せられています。

新町小春の大運動会

心に残った 紅白リレー

六年 細永 剛司

最後の種目紅白リレーになりました。得点表を見ると、白が赤に三点差で負けていました。ここはぜったい勝たないといけないので、みんな真剣な顔です。女子の白は、3位と4位でボロ負け。白の男子はぜったい勝たなくてはと、プレッシャーがかかります。僕がバトンを受ける時、白は二位でした。僕はリードを思いっきり走り、なんとか順位をキープしてアンカーに渡せました。アンカーは、一位の子をぬくというところで転んでしまいました。体勢



新町小運動会

組体操

五年 吉田 まい

「起きろ。」今日は、運動会です。私達五年は、はじめての組体操です。なのに私は、かたとう立ができません。だから朝、起きてから練習しました。「ドタン!!バタン!!いて。」「家がこわれるからやめなさい。」とうとう母におこられてしまいました。

もう41回くらいやりました。でも、まだできません。51回やっとできました。たしかめのためにもう一度、「よし、できた。」あとは本番をまつだけ。

「次は、五年生による組体操です。」いよいよ本番「さあいくぞ。」と言いながら頭の中では、しっぴいしないだろうか?などずっと考えていました。ブイバランス、とんぼ

夫の海外勤務に伴って、四年半をシンガポールで暮らし、ゆり北に帰って一年が過ぎました。ひと口に、異文化と言いますが、日常の生活はエッ!?と驚くことの連続で「常識」は、どこでも「常識」ではないことを初めて知りました。

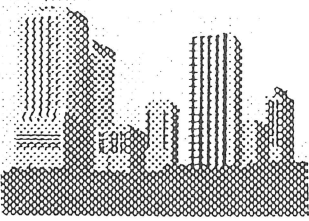
その1、息子の通っていた学校では、社会科見学のような校外活動のある日には、必ず保護者から、次のような手紙を提出させていました。

「本日〇〇の目的で、△△へ出掛けます。その間、予測外の事故で怪我をしても、また後日それが原因で死んでも引率者の責任を問いません」

会員のひろば

あなたの尺度は
大丈夫?

申したとると、店員さんは顔色ひとつ変えず「ハンドメイドだから仕方ない。」(?!?)と言ったそうです。買



結城 恵子

ゲートボールを始めるの記

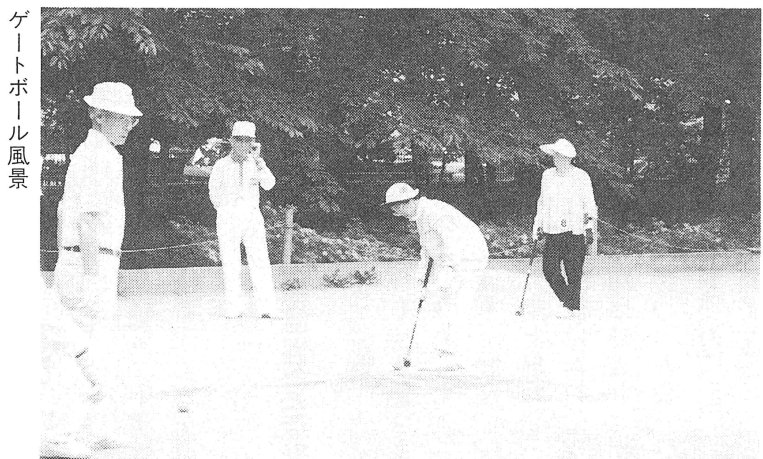
わがゆりの木ゲートボールチームは、去る五月二八日小豆沢運動場で開催された第三三回板橋区老人クラブ連合会ゲートボール大会、また六月四日当地区において開催された東相銀主催ゲートボール大会に出場したが、いずれも残念ながら日ごろの練習成果を発揮することができず、入賞を逸した。汚名返上をめざして練習にはげんでいる。我こそはと思う方は、ぜひ入会されんことを。

「善戦」ゲートボール

ゆりの木シルバーチーム

……いよいよ、かたとう立です。ピーピッピ。やったーできた。かたとう立はできました。でも、安心していつかとうのときにまちがえてしまいました。でもそのあとの波

リボンなどは、とてもうまくできました。私は、今年の運動会はともうまくいっただと思います。六年生の時にやる組体操はもっとガンバリたいと思います。



ゲートボール風景

雪の安達太郎に行く

今年の五月は例年になく寒い日が続ききました。五月一日〜四日に福島県の安達太郎山に登りましたがこの時にも季節はずれの雪に降られました。

早朝、東京を車で出発、二本松I・Cまで三時間余、午前九時に奥岳ロープウェイの乗り場に到着、山仕度をして出発、ロープウェイ附近は雪も消えてスキー場にはフキノトオが沢山顔を出していました。ロープウェイを降りると曇りました。月曜日とあって登山者は少く、先行に四名のみ、樹材帯にはまだ一米近い残雪でところどころでズボツと足が踏み抜けます。一時間二〇分程で安達太郎山の頂上につくがあいにく展望はない。紅茶を沸かして昼食をとる。時折り霧が晴れるがそのうちまた霧につつまれる。今日はくろがね小屋泊りの予約をしているのでノンビリと鉄山まで往復、誰も歩いていない雪の沢を小屋めざして一気に下る。小屋に着くころから本格的な雪となりました。くろがね小屋は温泉つきの山小屋なので二回もゆったりと風呂に入りました。翌朝は前日と打って変わった快晴になり、このまま下るのはもったいないと再び安達太郎山に登りました。新雪を踏みしめ冬山気分満点であった。頂上からは三六〇度の展望、真近かに盤梯山、遠くに飯豊連峰や日光連山が朝日にかがやいている。小一時間休けいして下山、奥岳でもう一度風呂に入り。再び二本松I・Cから東北道に入り一路帰京、東京の緑がまぶしく思えました。

四号棟 吉柳 記

